

空いけ阪大



私たち空いけ阪大は2005年に設立されて以来、**無尾翼機**を研究・製作し続けています。

そして、製作した飛行機を披露し、飛行記録を残す場として、読売テレビ主催の**鳥人間コンテスト**への出場を目指しています。人力機の研究開発を始めて以来、2012、2013年度大会に出場しました。

そして2013年度には**史上初**の無尾翼人力機の安定飛行を実現するという快挙を達成し、**大会特別審査員賞**を頂きました。



無尾翼機とは**尾翼のない**飛行機のこと。



史上初の無尾翼人力機の安定飛行を達成した、昨年度機体**織月**

鳥人間コンテストまでの流れ

設計

翼、桁、プロペラ、コックピットなどを設計し、より**効率の良い飛行**ができる機体を目指します。無尾翼機は空気抵抗が小さい代わりに安定性が低いため、それを補うために翼型や後退角、操舵機構を適切に設計します。

製作



しかし時間をかけ過ぎるとテストフライトの回数が減ってしまいます。**高精度な製作**を行うスキルは年々ついてきています。

鳥人間コンテストとは、自作した飛行機を**琵琶湖**で飛行させる大会。「滑空機」、「人力機タイムトライアル」、「人力機ディスタンス」の三部門からなる。



鳥人間
コンテスト

試験



機体の強度を確かめるための**荷重試験**をしたり、実際に飛行場に行って**テストフライト**をします。テストフライトでは、機体が設計通りの機体特性をしているかを確認すると同時に、パイロットが操舵感覚を身につけます。テストフライトの回数を重ねるごとに、より安定に飛行できるようになります。

2014年度大会に向けて

今年度は、コックピット周りの空力的改良、インフレームドライブシャフトの導入、プロペラの高剛性化などで昨年度よりも空気抵抗が小さく安全性の高い機体を作ることが出来ました。この機体で私たちは鳥人間コンテストに臨みます！

